

# 緑が丘

## 学校教育目標

自ら考え  
正しい行動のできる  
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校

学校通信 NO.4

令和5年6月30日

## 支えていただいた方への感謝の心を大切に

6月も終わりを迎え、いよいよ梅雨も後半に入りました。裏庭の紫陽花が美しい花を咲かせています。

第48回体育祭は、台風2号の接近と梅雨前線の活動による大雨の影響で6月4日(日)に延期して実施しました。新型コロナウイルス感染症が5類扱いとなりようやく制限がなくなった中での開催となりました。保護者の皆様にはいろいろお願いをして窮屈な思いをさせたかもしれません。しかし、皆様のご協力により、多くの方に気持ちよく観覧していただいた体育祭となったのではないかと思います。ご協力ありがとうございました。



裏庭の紫陽花

さて、今回の体育祭で私が生徒に望むことが2つありました。1つ目は「競技では勝負にこだわる。演技では完成度にこだわる。」ということです。勝利を目指し練習を重ねる。仲間と協力し努力・工夫する。時にはプレッシャーを感じることもあったでしょう。でも、うまくいったときの何物にも代えがたい喜び、うまくいかなかったときの悔しい気持ち。それはかけがいのない思い出となったはずです。大縄跳びではこんなことがありました。回数を重ねる3年生に2年生がアドバイスを求め、3年生が練習時間を割いてコツを伝授したそうです。結果そのクラスは見事学年で1位となりました。それを見て3年生は我がことのように喜んだということです。互いにリスペクトしあうエピソードからも生徒の成長を感じました。「緑中ソーラン2023」では、観客の皆様の熱い視線、そして演技後の万雷の拍手から大きな達成感を感じることができたと思います。その陰には貴重な大漁旗を寄付していただき迫力ある演技をつくりあげることに協力していただいた方があることも忘れてはなりません。



緑中ソーラン 2023

2つ目は「頑張る仲間にエールを送り健闘を称える。」ということです。勝負ですから勝つこともあれば負けることもあります。仲間が頑張る姿に感動し、それを笑顔で応援する姿。勝ったときに喜び、負けた時には共に悔しがる姿。本当にみんな体育祭を楽しんでいました。その姿がうれしく、頼もしく思いました。体育祭を通して生徒の大きな成長を感じるとともに普通に学校行事を行える「あたりまえ」のありがたさを改めて感じました。

6月17日(土)・18日(日)の陸上競技に始まり23日(金)・24日(土)にはその他競技で三木市総合体育大会が開催されました。3年生にとって3年間の部活動の集大成となる大会です。どの会場でも最後までベストを尽くす生徒の姿を見ることができました。見事上位大会へ進むことができた人は、さらに上を目指し頑張ってもらいたいと思います。応援しています。

体育祭、三木市総体と大きな行事が終わりました。節目を立派に乗り越え成長した自分に自信を持つとともに支えていただいた方々への感謝の気持ちを忘れず次のステージへ進んでほしいと思います。

(校長 西臺 士郎)

《三木市総体みんなよく頑張りました！》



陸上競技



サッカー



ソフトボール



水泳



卓球(女子)



卓球(男子)



女子ソフトテニス



男子バスケットボール



女子バスケットボール



野球



剣道



7月の行事予定表は、保護者専用ページに載せています。

7月に入ると、すぐに東播総体が始まります。水泳、女子バスケットボール、女子ソフトテニス、陸上競技、卓球、剣道にそれぞれ出場するみなさんの健闘を祈ります。

《緑が丘中学校ホームページ》

<http://www.miki.ed.jp/jh/midori/>

(「緑が丘中学校」で検索)